



**Thomson Innovation**

# THOMSON INNOVATIONユーザーガイド（エクスプレスユーザー用）

Clarivate Analytics User Assistance Team

Date of issue: 2017年03月12日

**Thomson Innovation**  
*Simpler. Smarter. Better.*

 **Clarivate**  
Analytics

## Table of Contents

Chapter 1 Thomson Innovation へのログイン	3
Chapter 2 検索	5
Chapter 3 Smart Search	12
Chapter 4 検索結果ダッシュボード	17
Chapter 5 検索結果	20
Chapter 6 特許レコード表示	29
Chapter 7 特許公報のダウンロード（注文）	33
Chapter 8 特許レコードからのデータのエクスポート	35
Chapter 9 注文状況	38
Chapter 10 アラート	39
Chapter 11 グラフ	41
Chapter 12 ワークファイル	43
Chapter 13 保存データ	45
Appendix 1 エクスプレス購読について	48

## Chapter 1 Thomson Innovation へのログイン

### クイック起動（IP 認証）を使用したログイン

このログイン方法は、IP 認証（クイック起動）機能が利用可能なクライアントにのみ有効です。ログイン画面に [クイック起動] ボタンが表示されていない場合、IP 認証を購読していません。

アカウントにクイック起動が含まれている場合、Thomson Innovation アカウントチームに前もって提供したインターネットプロトコル (IP) アドレスを使用して Thomson Innovation にアクセスすると、ユーザー ID やパスワードを入力することなく、ボタンをクリックするだけで、ユーザーはログインすることができます。

1. <http://www.thomsoninnovation.com/login> に移動します。
2. [クイック起動] ボタンをクリックします。

デフォルトの開始画面（[特許フィールド検索] 画面）が表示されます。

### ユーザー名をパスワードを使用してログイン

1. <http://www.thomsoninnovation.com/login> に移動します。
2. ログイン Email アドレスとパスワードを入力します。
3. [ログイン] をクリックして Thomson Innovation にアクセスします。

システム設定およびアカウント管理者により適用された設定に応じて、2つのポップアップウィンドウが表示されます。

#### ポップアップ ウィンドウ 説明

##### 検索履歴とマ ークリストを 保持

Thomson Innovation は、ユーザーが実行したすべての検索を自動的に保存します。保存した検索はデフォルトの検索履歴と呼ばれます。検索を実行した後、閲覧中にレコードにマーク（つまり、タグ）を付けておき、後で見直すことができます。マークリストは、マークしたレコードの実行中リストです。

Thomson Innovation にログインすると、以前のセッションの検索履歴とマークリストを保持するかクリアするか選択するポップアップウィンドウが表示されます。

検索履歴とマークリストを保持するように選択した場合、以前のセッションのすべての検索はデフォルトの検索履歴に、以前選択したすべてのレコードはマークリストにそれぞれ保持されます。検索履歴とマークリストをクリアするように選択した場合、デフォルトの検索履歴とマークリストは空になります。

この画面で行う選択は、Thomson Innovation が自動的に保存する検索とマークリストのレコードにのみ影響します。保存した検索履歴やワークファイルに保存するように選択した検索やレコードには影響しません。

オプションで、この選択を保存し、ログインするときに毎回同じオプションを使用できます。（これらの設定は、[ユーザー設定] で後から変更できます。）

**必須トラッキング**

アカウント管理者が、Thomson Innovation にログインするときにクライアントリファレンス番号を入力するように設定している場合、

管理者がユーザーにクライアントリファレンスの作成を許可している場合、独自のクライアントリファレンスを作成できます。その場合、最近のクライアントリファレンスを使用するか、または新しいクライアントリファレンスを使用するかを選択できます。管理者は、ユーザーにクライアントリファレンスのすべてのセグメントの作成を許可することも、または一部のみ（たとえば、プロジェクトセグメントとサブプロジェクトセグメントのみ）を許可することもできます。そのため、利用可能なオプションは異なります。

管理者がユーザーにクライアントリファレンスの作成を許可していない場合、ポップアップでは既存のクライアントリファレンスしか選択できません。

## Chapter 2 検索

### 特許のクイック検索

Smart Search を使用して、ダッシュボードから特許をすばやく検索できます。特定の特許の公報番号を検索することもできます。

これらのオプションは、左ナビゲーションパネルのクイック検索としても利用できます。

#### Smart Search を使用した特許のクイック検索

技術的に関連するいくつかの用語を使用して特許をすばやく検索するには、ダッシュボードのクイック検索を使用します。

1. ドロップダウンをクリックして、[Smart Search] を選択します。
2. テキストボックスに、（特許の請求項や技術の開示のような既存の公報から、または独自のキーワードで）技術発明を説明するテキストを入力します。
3. [Go] をクリックします。

関連する特許レコードを含む検索結果セットが表示されます。

#### 特定の特許のクイック検索

特許の公報番号がわかっている場合は、クイック検索と [公報番号] フィールドを使用して、特定の特許をすばやく検索できます。特定の特許をダウンロードする必要がある場合に便利です。

1. [検索] ドロップダウンをクリックして、[公報番号] を選択します。
2. テキストボックスに特許の公報番号を入力します。
3. [Go] をクリックします。

入力した公報番号と一致する特許を含む検索結果セットが表示されます。特許をダウンロードするには、検索結果セットの PDF アイコンをクリックします。

#### クイック検索の基本事項

- ユーザー設定で特定の特許コレクションを選択した場合、クイック検索の検索結果にはそれらのコレクションの特許レコードのみ含まれます。特定の特許コレクションを選択していない場合、検索結果には米国登録特許、米国公開特許、WIPO 公開特許、欧州 (EP) 登録特許、欧州 (EP) 公開特許の特許が含まれます。
- 検索対象の日付範囲は、過去 20 年間です（20 年前の 1 月 1 日から現在検索を実行した日まで）。
- 日本特許（日本語）は購読している場合でも含まれません。
- 公報番号は [公報番号] フィールドのみ検索します。出願番号や DWPI アクセション番号は検索しません。

## 検索結果

検索結果は検索フォームの下に表示されます。検索結果セットの詳細:

- [検索結果の確認](#)
- [検索結果の絞り込み](#)
- [検索結果に対する次のステップ](#)

## キーワードまたは日付に基づくドキュメントの検索

1. 特許および文献検索の場合、検索対象のコレクションで検索するコレクションを選択します。
2. ドロップダウンボックスを使用して、検索するフィールドを選択します。  
**注意:** 所属機関で特許のカスタムフィールドが設定されている場合は、標準フィールドの下にリストされます。
3. テキストボックスにフィールドの検索語を入力します。
4. **[検索]** をクリックして選択したフィールドに入力した用語を検索します。一致するドキュメントが検索結果セットとして表示されます。

ドロップダウンリストに表示されるフィールドと検索フォームを表示したときに選択されるフィールドは、[ユーザー設定] で設定できます。

## クエリーの表示と編集

プロおよびアナリスト購読レベルのユーザーは、**[クエリーの表示と編集]** ボックスで実行されるクエリーをプレビューできます。クエリーをプレビューすることで、検索対象が正しいかどうかを確認できます。

このボックスで、直接クエリーを編集できます。編集後にドロップダウンボックスやその他のツールを使用してクエリーの編集を行うと、**[クエリーの表示と編集]** で行った編集内容は上書きされます。このボックスで行った編集は、フィールドには反映されません。

**[構文のテスト]** ボタン（チェックマーク）をクリックして、クエリーを実行する前に検索の構文をテストします（必要に応じてクエリーを変更します）。

## 特許検索のクイックヒント

次のヒントはフィールド特許検索固有のヒントです。

- 特許の請求項や技術の開示のような既存の公報のテキストを検索するには、[**Smart Search**] フィールドを使用します。  
詳細: [Smart Search](#)
- 購読している特許情報源と検索に含まれる情報源を確認するには、[**検索対象のコレクション**] リンクをクリックします。
- 検索を公報発行日で限定しない場合は、デフォルトの [開始] および [終了] 日付を削除します。
- 単一特許の公報番号をすばやく検索するには、ダッシュボードのクイック検索を使用します。
- 特許公報番号のリストを検索するには、公報番号検索フォームを使用します。
- フィールド検索フォームの公報番号フィールドを使用する場合は、次の点に注意してください:
  - 公報番号に対応した適切な特許コレクションを選択します（たとえば、ドイツ公報番号の場合はドイツ特許コレクション）。
  - 特定の日付範囲のレコードではなく、コレクションのすべてのレコードを検索するには、公報発行日フィールドを削除します。

## すべての検索のクイックヒント

検索で必要な検索結果を得るには、以下のヒントを使用します。Thomson Innovation の検索の詳細は、「検索の基本事項」を参照してください。

- **AND** は、単語のすべてが存在することを意味し、検索は狭くなります。AND は、各フィールド間のデフォルトの演算子です。
- **OR** は、指定した用語の 1 つのみが存在することを意味し、検索は広がります。
- **NOT** は、続く単語が存在しないことを意味し、検索は狭くなります。
- **ADJ** は、フィールド内のキーワードの演算子であると見なされます（ADJ は、指定した順序で、隣接する 1 つの単語内の用語を検索します）。これは、[タイトル/抄録/請求項] フィールドで human transporter を検索すると、human ADJ transporter の検索として扱われることを意味します。
- 検索の各フィールド間で AND 演算子を使用した場合、日付フィールド（公報発行日など）は検索全体に適用されます。
- （公報発行日フィールドを含む）フィールドを使用しない場合、テキスト入力ボックスを空白にします。
- 検索を特定の日付に限定する場合は、[開始] と [終了] フィールドの両方を同じ日付にします。
- 「今日」から（日付を指定しないで）検索を開始するには、[開始] の日付を空白にします。
- ハイフンを含む単語は、2 つの単語として処理されます。ハイフンを含む用語を検索する場合は、ADJ 演算子を使用します。（ADJ は用語間のデフォルト演算子です。）

- クエリーは、大文字と小文字を区別しません。大文字、小文字、大小文字の組み合わせで入力できます。
- ストップワードと予約語は文献検索に適用されます。
- \* および ? ワイルドカードはどちらも検索で利用可能です。
- ワイルドカードを使用して入力した文字が少ない場合、\* 演算子を使用すると非常に多くの検索結果が返されることに注意してください。

## フィールド検索フォームのクイックリファレンス

使用する機能...	操作...
<b>[検索対象のコレクション] リンク</b>	検索するコレクションを選択します。 特許を検索している場合、現在選択されているコレクションが [検索対象のコレクション] ウィンドウを開くリンクとして表示されます。
<b>[検索フィールド] ドロップダウンボックス</b>	検索するフィールドを選択します。フィールドの隣にある疑問符「?」アイコンをクリックすると、フィールドの詳細な説明が表示されます。
<b>[検索フィールド] テキストボックス</b>	関連フィールドで検索する用語または日付を入力します。検索フィールドのテキストボックス内部の斜体テキストは、そのフィールドで有効な検索語の例です。
<b>[参照] ボタン</b>	検索に含めるフィールドのコード、名前、その他の用語の発見と選択を支援する検索支援を表示します。
<b>[空の値を検索] チェックボックス</b>	そのフィールドのデータが存在しないレコードを検索します。これらのレコードはフィールドに入力する用語に加えられます。
<b>[演算子] ドロップダウンボックス</b>	検索の2つのフィールドを結合する演算子（AND、OR、NOT）を選択します。検索範囲を広げたり、絞り込むことができます。デフォルトは AND に設定されていますが、ユーザー設定で変更できます。
<b>プラス (+) 記号とマイナス (-) 記号</b>	検索するフィールドを追加または削除します。新しいフィールドは、プラス記号をクリックしたフィールドの下に追加されます。
<b>クエリーの表示と編集（アナリストおよびプロユーザーのみ）</b>	実行するクエリーをプレビューします。また、セミコマンドラインのインターフェイスを使用して実行するクエリーを編集します。 <b>詳細:</b> <a href="#">クエリーの表示と編集</a>
<b>テンプレート（特許のみ）</b>	特許検索テンプレートを適用します。または、現在の検索設定（コレクション、フィールド選択、検索テキストを含む）を特許検索テンプレートとして保存します。



**[デフォルトとして保存] チェックボックス** [検索] をクリックした後、現在選択しているフィールドとコレクションをユーザー設定として保存します（テキストは保存しません）。つまり、選択したフィールド、コレクション、およびオプションが、[フィールド検索] 画面を表示したときのデフォルト設定になります。

**[すべての条件をクリア] ボタン** すべてのフィールドからすべてのエントリを削除します。現在選択しているフィールドは同じままです。

**[リセット] ボタン** 検索に対して行ったすべての変更を取り消します。[リセット] 機能は検索を実行する前と後で多少異なります。

- 検索を実行する前にリセットした場合、デフォルトのフィールドとコレクションが表示されます。
- 検索を実行した後にリセットした場合、実行した最後の検索（フィールド、コレクション、キーワードを含む）が表示されます。

## 特許公報のリストの検索

1. 検索する公報番号の**番号タイプ**を選択します。  
**注意:** 同じ検索で特許公報番号と DWPI アクセション番号の両方を使用することはできません。DWPI アクセション番号検索を使用するには、DWPI を購読している必要があります。
2. **出力タイプ**を選択します。
3. 出力タイプとして [検索結果セット] または [ワークファイル] を選択した場合、[特定検索] のオプションを選択します（オプション）。
4. テキストボックスに公報番号またはアクセション番号を入力するか、[参照] ボタン (...) をクリックして番号のリストを含むテキストファイルをアップロードします。

### Thomson Innovation で使用されている特許公報番号フォーマットの詳細:

特許公報番号フォーマットテーブル | 特許公報番号の概要

**注意:** セミコロン、タブ、改行で区切られた番号のリストを貼り付ける場合は、リストを再フォーマットする必要はありません。公報番号検索によって自動的にフォーマットされます。

5. オプションで、[デフォルトとして保存] チェックボックスをオンにして、現在の出力タイプをデフォルトの設定として保存します。
6. **[検索]** をクリックします。

[検索] ボタンをクリックすると、Thomson Innovation は公報番号を確認して、無効な番号を不一致パネルに表示します。

## 公報番号検索結果のソート順

公報番号検索結果のデフォルトのソート順は公報番号検索のタイプに依存します。

検索タイプ	デフォルトのソート順
特許公報番号	<p>公報番号を入力した順序。検索結果をエクスポートした場合、検索結果をワークファイルに保存した場合、検索結果のファミリーメンバーを取得した場合、または検索履歴から検索を再実行した場合、この順序が維持されます。</p> <p>公報番号検索結果のソート順を変更した場合は、[表示と並び替えのオプション] パネルを開き、[デフォルト] を選択して「入力」順に戻してください。</p>
DWPI アクセション番号	<p>アクセション番号を入力した順序。</p> <p>アクセション番号で DWPI ファミリー全体を検索します。検索結果は、（DWPI ベーシックレコードをデフォルトの優先文書として）DWPI ファミリー単位で折りたたんで表示されます。</p>

## 出力タイプ別の公報番号の制限

入力またはアップロードできるレコード数と [検索] ボタンをクリックした後の動作は出力タイプに依存します。

出力タイプ	公報番号の制限	動作
検索結果セット	60,000（アナリストユーザー） 30,000（プロおよびエクスプレスユーザー）	検索結果は検索フォームの下に表示されます。
ワークファイル	60,000（アナリストユーザー） 30,000（プロおよびエクスプレスユーザー）	ポップアップウィンドウが表示されます。既存のワークファイルにドキュメントを追加するか、ドキュメントを追加する新しいワークファイルを作成します。 <a href="#">詳細: ワークファイル</a>
特許公報	500	[ドキュメントデリバリー] 画面が表示されます。ドキュメントをダウンロードするオプションを選択します。
包袋	25	[ドキュメントデリバリー] 画面が表示されます。注文する包袋のオプションを選択します。

## 公報番号のガイドライン

- 公報番号検索の特許番号は、スペース、セミコロン、またはタブを使用して区切ることができます。
- セミコロン、タブ、改行で区切られた番号のリストを貼り付ける場合は、リストを再フォーマットする必要はありません。公報番号検索によって自動的にフォーマットされます。
- 公報番号検索の特許番号には、ダッシュを含めることができます。
- 検索では大文字と小文字は区別されません。
- 一部の国は異なる発明にコアの公報番号を再使用しており、番号の独自性を確立するために種別コードを利用しています。このため、（わかっている場合は）常に検索条件に種別コードを含めるようにしてください。
- 現在、コアの公報番号を再使用していない国/機関は、AT、AU、BE、BG、CA、CH、CU、DD、DE、EP、ES、FR、GB、IL、NZ、SE、SU、TN、US、WO、およびYUです。
- DWPI アクセション番号は、以下のいずれかのパターンになります（YYYY は 4 桁の年（1996 年以降）、CCCCCC は 6 桁の英数字のシーケンスです）。
  - YYYY-CCCCCCC
  - YYYYCCCCCC
- 公報番号検索ではコレクションを選択できません。
- 公報番号検索にフルテキストデータを購読していないコレクションの特許レコードが含まれている場合は、その特許レコードの INPADOC (DocDB) からの書誌事項も（購読している場合は DWPI データも）検索結果セットに表示されます。
- DWPI アクセション番号検索を表示および使用するには、DWPI を購読する必要があります。

## Chapter 3 Smart Search

Smart Search を利用すると、その技術のエキスパートでない場合でも、特定の技術に関連する特許を簡単に検索することができます。

（任意の長さの）テキストを入力すると、Smart Search はテキストを解析して重要な用語を抽出します。次に、Smart Search は、特許検索のエキスパートが使用するプロセスを利用して、入力したテキストから抽出された重要な用語に基づいて、正確で完全な検索結果を得ます。

Smart Search の利点:

- DWPI データを活用して検索結果の精度および総合性を高めます。
- 初心者でも技術分野に関連する特許を容易に見つけることができます。
- 最初に上位 1,000 件のレコードを表示して結果をすばやく検索できます。
- FTO (Freedom to Operate) 調査や先行技術調査を簡単に行うことができます。
- 既存の公報（特許、発明の開示、学術論文、その他の技術的な説明）、または馴染みのある、技術的に記述された用語でテキストを検索できます。
- テキストを自動的に解析して技術に関する重要な用語を検索します。

### よりスマートな検索のクイックヒント

- 既存の特許（タイトル、抄録、請求項を含む）、作成した特許の請求項、発明の開示からテキストを貼り付けて、FTO (Freedom to Operate) 調査や先行技術調査を簡単に行うことができます。
- 発明の一意の特徴や利点を記述する異なる用語のテキストを含めると、Smart Search が最適な結果を提供するのに役立ちます。  
ヒント: 編集によって拡張された DWPI タイトルと DWPI 抄録は、特許の技術の主な使用法と利点が強調されます。これらのテキストは Smart Search で特に役立ちます。
- Smart Search が技術的に記述された（英語の）テキストを解析して発明を要約する重要な用語を抽出するようにします。
- 必要に応じて、技術の特定の態様を検索するように、検索を実行した後に Smart Search がテキストから抽出した重要な用語を編集します。

### Smart Search は DWPI データを活用

Smart Search は、Derwent World Patents Index (DWPI) データを活用して検索結果の精度を高めています。DWPI 編集者は、特許テキストで業界標準の用語が使用されるように、DWPI データベースの各発明のテキストを（英語で）リライトします。また、DWPI 編集者は、特許で記述されている発明をより正確に反映するため、テキストを拡張します。この拡張されたコンテンツを使用して、Smart Search は関心のある技術分野に最も関連する特許を検索します。

DWPI データにアクセスしない場合でも、Smart Search は検索アルゴリズムの一部として DWPI コンテンツを使用します。検索結果セットやレコード表示で（後で入力テキストとして使用できる）DWPI データを表示する場合や、特定の DWPI フィールドを検索する場合は、DWPI データにアクセスする必要があります。

## Smart Search の使用方法

Smart Search を利用すると、その技術のエクスパートでない場合でも、複雑なクエリーを使用することなく、特定の技術に関連する特許を検索することができます。Smart Search は、2 つの簡単な方法で特許を検索できます。

- [技術的な説明テキストを使用](#)
- [特定の重要な用語を使用](#)

### 技術的な説明テキストを使用した特許の検索

特許のタイトル、抄録、請求項や発明の開示など、発明を説明する任意の長さのテキストを（英語で）入力します。

Smart Search は、テキストを解析し、重要な用語を抽出して、同意語、英語翻訳（英語以外の用語の場合）、異なるスペルの検索語、関連する分類コードと引用特許が含まれるように抽出された重要な用語を拡張します。次に、Smart Search は、抽出された重要な用語を使用して、DWPI を含むすべての Thomson Innovation 特許データベースで技術に関連する特許を検索し、最も関連性の高いレコードを表示します。

### 特定の重要な用語を使用した特許の検索

発明を説明する重要な用語を入力します。任意の数の重要な用語を入力できます。用語間に演算子（AND、OR、ADJ、NEAR）を入力しないでください。

Smart Search は、同意語、英語翻訳（英語以外の用語の場合）、異なるスペルの検索語、関連する分類コードと引用特許が含まれるように抽出された重要な用語を拡張します。次に、Smart Search は、抽出された重要な用語を使用して、DWPI を含むすべての Thomson Innovation 特許データベースで技術に関連する特許を検索し、最も関連性の高いレコードを表示します。

引用符を使用して入力した特定の重要な用語をグループにすると、Smart Search はそのグループを 1 つの用語と見なします。

### Smart Search はさまざまな言語の重要な用語を処理可能

Smart Search は、Thomson Innovation の特許データベースに索引付けされているすべての言語の単一語の重要な用語を処理できます。現在、英語、ラテン文字を使用するヨーロッパ言語（フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語を含む）、日本語の検索語を使用できます。ただし、Smart Search が抽出できるのは英語のキーワードのみです。

Smart Search は、ダイアクリティカルマーク（たとえば、アクセントやウムラウト）を含むラテン文字を正しく処理します。Smart Search は、科学記号や数学記号として使用されるギリシャ文字は処理しますが、ギリシャ語の検索語は処理しません。

### エキスパート検索フォームでの重要な用語の入力

エキスパート検索フォームで通常どおり特定の重要な用語を入力します。特殊文字を入力する必要はありません。検索演算子は入力しないでください。

引用符を使用して単語をグループにすると、Smart Search はそのグループを 1 つのフレーズと見なします。

## 特許コレクションと他の検索フィールドが Smart Search に与える影響

Smart Search は、DWPI データを含む特許データベース全体の情報を使用して、テキストに関連する検索結果を見つけます。Smart Search は、独立して動作し、選択したコレクションや検索に含めた他の特許フィールドによって制限されません。Smart Search が重要な用語を完全に解析して最も適切な検索結果を返すことができるように、すべてのコレクションが含まれています。

ただし、Smart Search を実行するときに選択したコレクションや追加のフィールドにより、表示される検索結果は制限されます。たとえば、US 登録特許のみを選択した場合でも、Smart Search は特許データベース全体を調べます。ただし、検索結果には US 登録コレクションからの特許公報のみ表示されます。公報発行日フィールドを含めた場合、検索結果には指定した日付の公報のみ表示されます。

## Smart Search と検索履歴

検索履歴は、後から使用および確認できるように、Smart Search クエリーを含む、すべてのクエリーを保存します。Smart Search は従来の Boolean 検索と動作が異なるため、検索履歴には以下のような Smart Search 固有の特別な機能が含まれます：

- 検索履歴には、テキストから抽出された重要な用語のみ保存されます。テキストのブロックは保存されず、Thomson Innovation サーバーから取得できません。
- 検索履歴の検索結果数の隣のフラグアイコンは、Smart Search の最初の上位 1,000 件の検索結果を示します。
- [すべての Smart Search の検索結果を取得] オプションを選択すると、Smart Search に新しい項目が作成されます。

## Smart Search の検索結果

Smart Search の検索結果セットは、検索テキストに最も関連する特許をすばやく確認できるように、いくつかの独自の機能を使用しています。Smart Search の検索結果セットには以下のような機能があります。

- デフォルトで最も関連性の高い 1,000 件のレコードを表示します。必要に応じて完全な検索結果セットをロードするオプションを指定できます。
- 特定の公報が検索テキストで記述された技術とどの程度一致しているかを示す関連性（Smart Search で見つかった他のレコードとの関連性）で検索結果をソートします。
- 公報に Smart Search がテキストから抽出した（または入力した）重要な用語が含まれていない場合でも、検索テキストに関連する公報を含めます。
- Smart Search の実行後に選択されたコレクションおよび追加の検索を考慮します。

## Smart Search は最適な 1,000 件の検索結果を表示する

Smart Search は、検索テキストで記述されている技術に関連する特許をすべて検索するように設計されています。そのため、Smart Search の検索結果セットは従来の検索手法の検索結果セットよりもかなり大きくなる可能性があります。

最も関連する情報に注目できるように、Smart Search の検索結果セットは検索で記述された技術と最も一致するレコードを最初に表示します。最初の検索結果には、（関連性による決定される）最もスコアの高い 1,000 件のレコードが表示されます。

完全な Smart Search の検索結果にアクセスするには、**ツールアイコン**をクリックして **[すべての Smart Search の検索結果を取得]** を選択します。完全な検索結果は従来の検索結果セットよりもかなり大きくなる場合がありますが、関連性でソートされるため、最適な検索結果が最初に表示されます。関連性を使用すると、検索の意図と一致しなくなる検索結果のポイントを決定するのに役立ちます。

## Smart Search は検索結果を関連性でソートする

Smart Search は検索結果を関連性（Smart Search アルゴリズムにより検索結果の各公報に適用されたスコア）でソートします。

関連性は、検索結果の特定の公報が検索テキストで記述された技術とどの程度一致するか相対的に測定されたものです。技術を最も良く表現している公報が関連性スコア 100 になります。技術をそれほど表現していない公報のスコアはより低くなります。

100 から 1 までの関連性スコアの変化は直線的でないため、同様のスコアの多くの公報が特定の値の周囲に表示されることがあります。

特定のレコードの関連性スコアは、その特定の検索で見つかった他の公報との比較です。検索結果セットが変更されると（検索結果セットをファミリーで展開した場合など）、関連性スコアはダッシュで表示されます。

Smart Search 検索結果セットの関連性スコアは、従来の検索にオプションで表示できる関連性スコアと本質的に異なります。

## Smart Search の検索結果はすべての関連公報を含む

Smart Search アルゴリズムは、入力したテキストを解析し、関連する重要な用語を抽出して、関連する用語、分類コード、引用特許が含まれるように検索を拡張します。これは、Smart Search の検索結果の特許レコードにテキストから抽出された用語が含まれない場合があることを意味します。

また、特許にテキストからの用語が含まれていても、主題にのみ関連している場合、Smart Search は抽出された重要な用語を含む特許を除外する場合があります。

## 追加の検索条件は Smart Search の実行後に適用される

Smart Search は、Thomson Innovation で利用できる（DWPI 付加価値データを含む）情報をすべて使用して、検索テキストに関連する特許をすべて見つけます。Smart Search は、独立して動作し、選択したコレクションや検索に含めた他の特許フィールドによって制限されません。Smart Search が重要な用語を完全に解析して最も適切な検索結果を返すことができるように、すべてのコレクションが含まれています。

検索の追加条件（コレクション、別の検索フィールドなど）は検索結果を追加または制限します。追加条件は Smart Search の実行後に適用されます。

選択したコレクションやフィールドに関係なく、検索で最も関連性の高い最大 1,000 件のレコードが常に表示されます。最初の 1,000 件のレコード制限は他のすべての検索条件の後に適用されます。すべての Smart Search の検索結果を取得した場合、その検索結果では追加のフィールドや選択したコレクションが考慮されません。

Smart Search の検索結果は、Thomson Innovation の他の特許検索結果セットと同様に処理できます。ソート、フィルタリング、サブサーチの実行、ファミリー単位の折りたたみ、解析やエクスポートのようなアクションの実行で同じオプションを利用できます。



## Chapter 4 検索結果ダッシュボード

検索結果ダッシュボードは、特許検索結果の内容をすばやく理解できるように支援します。検索で見つかった特許レコードのデータを要約した、4つの読みやすいビジュアル表示を表示します。これらのビジュアル表示のデータポイントを選択して、最も重要な検索結果をすばやく確認することができます。

検索結果ダッシュボードは、検索を実行するたびに自動的に表示されます。特許検索結果セットのユーザー設定で、表示するビジュアル表示のフィールドや種類を制御したり、オプションで検索結果ダッシュボードをオフにすることができます。

### 検索結果ダッシュボードの使用方法


検索結果ダッシュボードのビジュアル表示は、検索結果に表示された特許レコードのデータを要約します。これらのビジュアル表示をフィルターとして利用し、情報に基づいて結果をすばやく確認することもできます。

#### 検索結果の要約の表示

検索結果ダッシュボードは、検索で見つかった検索結果を要約した、4つのビジュアル表示を表示します。これらのビジュアル表示は、特定のフィールドを検索して見つかった上位のアイテム（たとえば、上位20の出願人）を表示します。カーソルをビジュアル表示のデータポイントの上に移動すると、そのデータポイントの詳細な情報が表示されます。

ビジュアル化して表示するフィールド、ビジュアル表示の種類、表示するデータポイントの数（上位10アイテムまたは20アイテム）を選択できます。

**詳細:** [検索結果ダッシュボードのオプション](#)

 アイコンをクリックすると、拡大表示になります。拡大表示では、（カーソルをデータポイントの上に移動したときではなく）常に各データの詳細な情報が表示されます。ビジュアル表示のタイトルを変更したり、Thomson Innovationの外部で使用できるように、グラフのスナップショットをダウンロードすることもできます。

**詳細:** [検索結果ダッシュボード拡張表示のオプション](#)

#### 検索結果のクイック確認

ビジュアル表示のデータポイントを検索結果のフィルターとして使用できます。検索結果を、特定の譲受人のような、特定の情報に絞り込むことができます。

検索結果のフィルタリングにビジュアル表示を使用するには、**データポイント**を選択して、**[検索結果のフィルタリング]**をクリックします。必要なビジュアル表示と同じ数のデータポイントを選択できます。

検索結果が更新され、選択したデータポイントを含むレコードが表示されます。検索結果ダッシュボードは厳選された検索結果を反映するように更新されるため、特定の情報を確認して、ビジュアル表示で変更を解析することができます。



必要に応じて、更新された検索結果ダッシュボードを使用して追加のフィルターを適用できます。元の検索結果に戻るには **[リセット]** をクリックします。

**注意:** ビジュアル表示のフィルタリングとテキストベースのフィルタリングは自由に切り替えることができます。ビジュアル表示のフィルタリングで行った選択はテキストベース

のフィルタリングに反映されます（ただし、テキストベースのフィルタリングで行った選択はビジュアル表示のフィルタリングには反映されません）。

## 検索結果ダッシュボードのオプション




検索結果ダッシュボードは、データの内容をすばやく理解できるように検索結果をビジュアル化します。以下のツールは、特許検索結果の効率的な確認を支援します。

ツール	説明
<b>ビジュアル表示</b>	<p>ビジュアル表示にはそれぞれ、選択したフィールドの上位のアイテムが表示されます。カーソルをビジュアル表示のデータポイントの上に移動すると、そのデータポイントの詳細な情報が表示されます。</p> <p>グラフの棒グラフ、バブルチャート、国、ポイントを使用して、検索結果のフィルターを作成できます。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. フィルタリングをオンにするアイテムのデータポイントを選択します。 <b>注意:</b> 必要なビジュアル表示と同じ数のデータポイントを選択できます。</li><li>2. <b>[検索結果のフィルタリング]</b> ボタンをクリックします。</li></ol> <p>検索結果セットは、各ビジュアル表示の少なくとも1つの選択したアイテムと一致するレコードを表示します。ビジュアル表示でアイテムを選択していない場合、そのフィールドはフィルタリングされません。</p>
<b>フィールドドロップダウンメニュー</b>	<p>各ビジュアル表示の左上のドロップダウンメニューからビジュアル化するフィールドを選択します。</p> <p>特許検索結果セットのユーザー設定で、デフォルトで表示するフィールドを制御することができます。</p>
<b>Show Top</b>	<p>上位 10 アイテムまたは 20 アイテムを表示します。選択したオプションはオレンジで表示されます。デフォルトは上位 20 アイテムです。</p>
<b>グラフを拡大 </b>	<p>追加の詳細（軸ラベルなど）を含めてビジュアル表示を拡大します。ここから、グラフのスナップショットをダウンロードできます。他のビジュアル表示は非表示になりますが、それらのビジュアル表示で行った選択はアクティブなままです。</p> <p><b>詳細:</b> <a href="#">拡張ビジュアル表示のフィルタリングオプション</a></p>
<b>グラフオプション </b>	<p>ビジュアル表示の種類を変更します。</p> <p>特許検索結果セットのユーザー設定で、各フィールドのデフォルトで表示するビジュアル表示の種類を制御することができます。</p>

## 検索結果ダッシュボード拡張グラフのオプション

検索結果ダッシュボードは、データの内容をすばやく理解できるように検索結果をビジュアル化します。ビジュアル表示を拡張して、より詳細な情報を確認したり、ビジュアル表示のスナップショットをダウンロードすることができます。

以下のツールは、特許検索結果の効率的な確認、変更、カスタマイズ、共有を支援します。

ツール	説明
<b>ビジュアル表示（グラフ）</b>	<p>ビジュアル表示にはそれぞれ、選択したフィールドの上位のデータポイントが表示されます。カーソルをビジュアル表示のデータポイントの上に移動すると、そのデータポイントの詳細な情報が表示されます。</p> <p>ビジュアル表示の棒グラフ、バブルチャート、国、ポイントを使用して、フィルターを作成できます。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. フィルタリングをオンにするアイテムのデータポイントを選択します。 <b>注意:</b> 必要なビジュアル表示と同じ数のデータポイントを選択できます。</li><li>2. <b>[検索結果のフィルタリング]</b> ボタンをクリックします。</li></ol> <p>検索結果セットは、各ビジュアル表示の少なくとも 1 つの選択したアイテムと一致するレコードを表示します。ビジュアル表示でアイテムを選択していない場合、そのフィールドはフィルタリングされません。</p>
<b>タイトル</b>	<p>編集するビジュアル表示のタイトルをクリックします（64 文字まで入力できます）。拡張表示はタイトルを自動的に作成します。タイトルはダウンロードしたスナップショットに自動的に含まれます。</p>
<b>フィールドドロップダウンメニュー</b>	<p>ビジュアル化するフィールドを選択します。このメニューは各ビジュアル表示の左上に表示されます。</p> <p>特許検索結果セットのユーザー設定で、デフォルトで表示するフィールドを制御することができます。</p>
<b>Show Top</b>	<p>上位 10 アイテムまたは 20 アイテムを表示します。デフォルトは上位 20 アイテムです。</p>
<b>グラフを縮小 </b>	<p>標準表示に戻ります。拡張表示で行った選択はアクティブなままです。 <b>詳細:</b> <a href="#">検索結果ダッシュボードのオプション</a></p>
<b>グラフをダウンロード </b>	<p>ビジュアル表示のスナップショットを .PNG ファイルでダウンロードします。スナップショットには、すべてのビジュアル表示の（デフォルトまたは編集後の）タイトルが含まれます。マップのスナップショットには凡例も含まれます。</p>
<b>グラフオプション </b>	<p>ビジュアル表示の種類を変更します。</p> <p>特許検索結果セットのユーザー設定で、各フィールドのデフォルトで表示するビジュアル表示の種類を制御することができます。</p>

## Chapter 5 検索結果

検索結果セットを利用すると、レコードをコンパクトに表示して、スキャンや表示のカスタマイズを簡単に行うことができます。検索結果セットは、公報番号（特許）やタイトル（文献レコード）に加えて、選択したフィールドを表示します。公報番号やタイトルは、そのレコードの詳細にハイパーリンクされています。

検索結果セットは、検索を実行した後、ワークファイル（またはマークリスト）にアクセスした後、またはレコード表示のハイパーリンクやボタンをクリックした後に表示されます。検索結果セットの機能とオプションはほぼ同じであるため、まとめて説明します。違いがある場合は、その違いについて説明します。

検索結果セットから、次の操作を行うことができます。

- 検索結果セットのページを見て、レコードを確認する。
- ハイパーリンクされている公報番号やタイトルをクリックして、レコードの詳細を表示する。
- ツールを使用して、すべてのレコードまたは選択したレコードの保存、解析、その他の処理を行う。

### 検索結果の確認

検索結果セットには、各レコードの公報番号（特許）またはタイトル（文献レコード）が常に含まれます。検索結果セットには、レコードに関する概要情報も表示されます。特許検索結果には、カスタムフィールドを含めることもできます（所属機関で利用可能な場合）。

公報番号検索結果は、検索フォームまたはアップロードしたドキュメントに公報番号（またはアクセッション番号）を入力した順序で表示されます。検索結果をエクスポートした場合、検索結果をワークファイルに保存した場合、検索結果のファミリーメンバーを取得した場合、または検索履歴から検索を再実行した場合、この順序が維持されます。

検索結果を確認するには、検索結果をスクロールして概要情報を使用します。検索結果セットに複数のページが含まれる場合は、検索結果セットの上部または下部のナビゲーションツールを使用して、ページ間を移動します。

## 検索結果の確認ツール

機能	説明
検索結果ダッシュボード	<p>データの内容をすばやく理解できます。検索を実行すると 4 つのビジュアル表示が表示されます。ビジュアル表示に表示するフィールドを選択して、より詳細に確認できます。</p> <p><b>詳細:</b> <a href="#">検索結果のビジュアル化</a></p>
フィールドの表示	<p>検索結果には、各レコードの情報を要約する 8 つまでのフィールドを表示することができます。</p> <p>表示するフィールドを変更するには:</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. <b>tool (gear) icon</b>をクリックして、<b>[表示と並び替えのオプション]</b>を選択します。</li><li>2. 表示するフィールド（8 つまで）を選択します。</li><li>3. <b>[OK]</b>をクリックします。</li></ol> <p><b>詳細:</b> <a href="#">表示と並び替えのオプション</a></p> <p>カスタムフィールドは、標準の特許フィールドと同じように検索結果セットに表示されます。カスタムフィールドを表示するには、ユーザー設定または <b>[表示と並び替えのオプション]</b> でカスタムフィールドを選択する必要があります。</p>
ハイライト	<p>ハイライトは、検索語（または重要な用語）を強調して、テキストの中で見やすくします。検索語が見つかりやすくなるため、検索語が含まれる文脈からドキュメントの関連性を確立する時間が節約できます。</p>
見つかったレコード数と表示制限	<p>検索結果の上のヘッダーには、見つかったレコード数、検索したレコード数、検索結果の表示制限が表示されます。検索で見つかったレコード数が表示できるレコード数よりも多い場合、購読タイプに応じた表示制限（アナリストユーザーは 60,000 件、プロおよびエクスプレスユーザーは 30,000 件）により、表示されるレコード数は制限されます。</p> <p>検索条件が広いためにすべての結果を表示できない場合、すべての結果を表示できるように検索を絞り込んでください。検索で見つかったレコードのサブセットの検索を複数回実行することもできます（たとえば、異なる発行年について同じ検索を実行します）。</p>
レコードの詳細へのハイパーリンク	<p>各レコードの公報番号やタイトルは、そのレコードの詳細にハイパーリンクされています（レコード表示）。レコードの詳細を確認できるように、レコード表示は別のウィンドウに表示されます。レコードの詳細を表示している間、検索結果セットは開いたままです。</p>
特許検索結果の番号	<p>特許検索結果には、検索結果の番号も含まれます。この番号は順番に付けられ、特定のレコードには結び付けられていません。検索結果セットを並び替えまたはフィルタリングすると、レコードの番号は変更されます。</p> <p>折りたたまれた特許検索結果には、ピリオドで区切られた 2 つの番号が表示されます。最初の番号は親レコードを、2 番目の番号は子レコードを示します。</p>

**PDF アイコン** PDF アイコンは、特許および文献検索結果のレコードを選択チェックボックスの下に表示されます。特許レコードの場合、このアイコンをクリックすると、関連付けられている特許 PDF/イメージが表示されます。文献レコードの場合、このアイコンをクリックすると、記事のフルテキストを注文します。（複数の特許 PDF/イメージを取得するには [注文] オプションを使用します。複数の記事を取得するには [文献記事] オプションを使用します。）

## 表示と並び替えのオプション

[表示と並び替えのオプション] パネルを使用して、作業に必要なフィールドのみ表示するように、検索結果セットの表示を構成します。

検索結果セットの上のギアアイコンから [表示と並び替えのオプション] 画面にアクセスできます。検索の実行前でも実行後でもアクセス可能です。検索結果セットの表示のより広範囲なカスタマイズは、ユーザー設定で行います。

### オプション

#### 説明

**標準フィールド / カスタムフィールド** 検索結果セットに表示するフィールドを選択します。一度に 8 つまでのフィールドを表示できます。

**注意:** 特許の場合、フィールドの選択は検索しているデータセット（特許発行機関ごとの特許コレクションまたは DWPI および DPCI の付加価値特許データ）により異なります。

### アイコンを表示

検索結果セットに表示するアイコンを選択します。

- **PDF アイコン:** オリジナルドキュメントの PDF コピーをダウンロードするリンク。特許および文献検索結果セットで利用可能です。
- **注釈アイコン:** ワークファイルの検索結果セットで、このアイコンをクリックするとレコードレベルの注釈にします。
- **Thomson Reuters (TR) リンク:** 文献記事のフルテキストにアクセスするリンクを表示します。文献検索結果セットでのみ利用可能です。
- **フルテキストの記事をチェック:** 記事のフルテキストを注文するドキュメントデリバリー画面を表示します。文献検索結果セットでのみ利用可能です。

特許検索結果セットでは、オプションで検索結果セットの番号を表示することもできます。

**ソート対象** 検索結果セットに最初に表示するフィールドとレコードのソート順（昇順または降順）を選択します。検索結果セットのカラム見出しをクリックして、フィールドを並べ替えることができます。

特許テキスト検索結果セットでは、検索結果セットのレコード表示のデフォルトのソート順は、コレクション別です。（コレクションのソート順を参照してください。）各コレクション内では、レコードは最近の更新日（挿入日または修正日）順に示されます。常に公報発行日順になるとは限りません。

特許公報番号検索（日本特許（日本語）を含む）では、検索結果セットのレコード表示のデフォルトの順序は、検索フォームまたはアップロードしたドキュメントに公報番号（またはアクセス番号）を入力した順序です。検索結果をエクスポートした場合、検索結果をワークファイルに保存した場合、検索結果のファミリーメンバーを取得した場合、または検索履歴から検索を再実行した場合、この順序が維持されます。公報番号検索結果のソート順を変更した場合は、[デフォルト]を選択して「入力」順に戻してください。

**表示件数** ページごとに表示するレコード数を選択します。

**図面サイズ** [図面] フィールドを表示するときに使用する図面のサイズを（ピクセル単位で）指定します。

**折りたたみ単位（特許のみ）** Thomson Innovation は、特定のデータを折りたたむ（隠す）ことができるため、特許検索結果セットを一目でわかりやすく表示できます。折りたたまれたグループは1回クリックすると展開され、もう1回クリックすると再び折りたたまれます。

ドロップダウンリストから値を選択して、折りたたみの種類を指定します。（折りたたみ単位オプションの詳細を参照してください。）

INPADOC/DWPI ファミリーまたは出願番号で折りたたむように選択すると、[優先文書] セレクタがアクティブになり、ファミリーで表示するレコードを指定できます。（優先文書のオプションの詳細を参照してください。）

優先文書として [特許機関および種類により整列] を選択すると、[特許機関とタイプ] セレクタが有効になります。このリストを使用して、特許機関および種類に基づいて表示する文書の優先度を設定することができます。最も優先度の高い特許機関/種類の文書が存在しない場合、ファミリーに存在する次に優先度の高い特許機関/種類の文書が表示されます。

特許機関/種類の優先度を設定するには、リストから特許機関/種類を選択し、矢印を使用して順序を設定します。利用可能なコレクションの特許機関のみリストに表示されます。ソート順にコレクションの特許機関を含めるには、コレクションにアクセスする必要があります（たとえば、ソート順に中国特許を含めるにはアジア特許コレクションにアクセスする必要があります）。

**注意:** [特許機関および種類により整列] リストは優先文書として表示する文書を決定するだけです。ファミリーの他の文書は、リストで設定した順ではなく、現在のソート順で表示されます。



**デフォルトのユーザー設定に反映** 選択したオプションを保存して、Thomson Innovation を使用するたびに保存したオプションを適用します。

**現在の検索結果に適用** 選択したオプションを現在の検索結果に適用します。現在の検索の代わりに将来の検索にも変更を適用するには、このチェックボックスをオフにしてください。

## 検索結果の絞り込み

検索ストラテジーには、非常に広い範囲の検索の使用と、その後の検索結果の絞り込みがよく含まれます。以下のツールは、大規模な検索結果セットの効率的な管理および絞り込みを行うときに役立ちます。

### 検索結果の絞り込みツール

ツール	説明
<b>検索結果の上の検索フォーム</b>	検索を実行して検索結果セットにアクセスした場合、元のクエリーを絞り込んで再実行し、その結果をただちに確認することができます。現在の検索結果のみではなく、データベース全体に対して新しい検索が実行されることに注意してください。
<b>検索結果ダッシュボードのフィルタリング</b>	<p>検索結果ダッシュボードのビジュアル表示は、現在の検索結果セットで上位にランキングされた検索結果に基づいて新しい検索結果セットを作成します。検索結果ダッシュボードは自動的に表示され、選択したフィールドの上位のアイテムを簡単に確認することができます。特許検索結果セットのユーザー設定でデフォルトのビジュアル表示を設定できます。</p> <p>ビジュアル表示の棒グラフ、バブルチャート、国、ポイントを使用して、検索結果のフィルターを作成できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. フィルタリングをオンにするアイテムの<b>データポイント</b>を選択します。 <b>注意:</b> 必要なビジュアル表示と同じ数のデータポイントを選択できます。</li> <li>2. <b>[検索結果のフィルタリング]</b> ボタンをクリックします。</li> </ol> <p>検索結果セットは、各ビジュアル表示の少なくとも 1 つの選択したアイテムと一致するレコードを表示します。ビジュアル表示でアイテムを選択していない場合、そのフィールドはフィルタリングされません。</p> <p>アカウント管理者（カスタムフィールドを作成する人）がカスタムフィールドを作成したときにフィルタリングの設定を行っている場合、カスタムフィールドは検索結果ダッシュボードにフィルタリングして表示されます。</p> <p>フィルタリングをクリアするには、<b>[リセット]</b> ボタンをクリックします。</p> <p><b>詳細:</b> <a href="#">検索結果ダッシュボード</a></p>



**テキストベースのフィルタリング** フィルタリングは、現在の検索結果セットで上位にランキングされた検索結果に基づいて新しい検索結果セットを作成します。

フィルタリングを適用するには:

1. **フィルターアイコン**をクリックします。
2. ドロップダウンボックスをクリックして、フィルタリングするフィールドを選択します。

**詳細:** フィルタリングフィールドのリスト

3. フィルタリングをオンにするアイテムのチェックボックスをオンにします。

**注意:** 上位 100 アイテムまで表示されます。

4. **[検索結果のフィルタリング]** をクリックします。

カスタムフィールドを作成するとき、アカウント管理者（カスタムフィールドを作成する人）はカスタムフィールドをフィルタリングできるかどうかを設定します。

フィルタリングをクリアするには、**[リセット]** ボタンをクリックします。

**検索結果のサブサーチ** サブサーチは、検索結果セット内の単一フィールドの検索を実行します。

検索結果のサブサーチを行うには:

1. **フィルターアイコン**をクリックします。
2. 検索するフィールドを選択して、検索条件を入力します。
3. **[サブサーチ]** をクリックします。

元の検索結果セットに戻るには、**[リセット]** ボタンをクリックします。

## ソート

検索結果セットのレコードは、ヘッダー行（フィールド名の行）のハイパーリンクされているフィールドをクリックして並び替えることができます。**[表示と並び替えのオプション]** パネルを使用してレコードを並び替えることもできます。デフォルトのソート対象も、ユーザー設定でカスタマイズできます。

特許検索結果セットでは、検索結果セットのレコード表示のデフォルトのソート順は、コレクション別です。（コレクションのソート順を参照してください。）各コレクション内では、レコードは最近の更新日（挿入日または修正日）順に示されます。常に公報発行日順になるとは限りません。

特許検索結果セットの場合、所属機関で利用可能であれば、カスタムフィールドで表示と並び替えの両方をカスタマイズできます。ただし、並び替えることができないカスタムフィールドの**[テキスト]** フィールドは除きます。

検索結果セットにそのフィールドを表示するように選択していない場合でも、**[ユーザー設定]** や **[表示と並び替えのオプション]** パネルから、並び替え可能なフィールドとして分類されたフィールドで並び変えるように選択できます。

## 特許検索結果を折りたたんで関連レコードを表示

特許検索結果を折りたたむと、発明または出願番号あたり 1 つのレコードが表示され、より効果的に検索結果を解析できます。

折りたたみ（および展開）は現在のクエリーで見つかったレコードにのみ影響します。つまり、検索結果セットのファミリーメンバーはすでにグループにされていますが、クエリーで見つからなかったためこの検索結果セットに含まれていないファミリーメンバーは含まれません。

**注意:** 検索結果セットの折りたたみは検索結果セットのファミリーメンバーの取得と（似ていますが）同じではありません。

---

### 検索結果の折りたたみ

1. **ギアアイコン**をクリックして、**[表示と並び替えのオプション]** を選択します。
2. **[折りたたみ単位]** ドロップダウンをクリックして、検索結果を折りたたむ方法を選択します（折りたたみ単位オプションを参照）。
3. オプションで、**[優先文書]** ドロップダウンをクリックして、グループが折りたたまれたときに表示する「親」文書を選択します（優先文書のオプションを参照）。
4. **[OK]** をクリックします。

[折りたたみ単位] オプションにしたがってグループ化された元の検索結果セットのレコードを含む新しい検索結果セットが表示されます。

### 折りたたまれた検索結果の操作

折りたたまれた検索結果セットは、最初にすべてのグループを折りたたんで表示します。つまり、検索結果セットに表示されるレコードは、優先文書として表示するように選択したレコードです。

グループの関連ドキュメントを表示するには、優先文書の隣の展開 (+) ボタンをクリックします。関連ドキュメントを非表示にするには、折りたたみ (-) ボタンをクリックします。

**注意:** グレー表示されている（クリックできない）折りたたみボタンは、この検索結果セットでそのグループにレコードが 1 つしか含まれていないことを示します。

---

検索結果セットのすべてのグループを展開または折りたたむには、検索結果セットの上部のグローバル展開/折りたたみボタンを使用します。現在表示されているグループのみでなく、検索結果セットのすべてのグループが対象になります。

## 検索結果に対する次のステップ

必要な検索結果が得られたら、検索結果に他のアクションを実行できます。ここでは、利用可能なアクションについて説明します。

## レコードの選択

すべて選択は、検索結果セットから行われる処理の暗黙的なデフォルトです（例外は監視レコードの作成です）。検索結果の各行のチェックボックスを使用して、レコード単位でアクションを行う項目を選択（または選択解除）することもできます。

**注意:** 検索結果セットのヘッダー行にも、[すべて選択] チェックボックスが含まれています。（すべて選択チェックボックスをオンにして）明示的にすべて選択する利点は、レコードベースで簡単にレコードを選択解除（および省略）できる点です。検索結果セットに含まれているレコード数が多い場合、個別に選択するよりも速く選択できます。

## 検索結果の操作に利用可能なツール

ツール	説明
追加	<p>すべてのレコードまたは選択したレコードをワークファイルまたはマークリストに追加します。</p> <p>ワークファイルは、1つまたは複数のレコードへのリンクを保存したリストです。</p> <p>マークリストを使用すると、閲覧中にレコードにマーク（つまり、タグ）を付けておき、後で見直すことができます。マークしたレコードは、検索結果でレコードのチェックボックスのまわりが黄色でハイライト表示されます。</p>
グラフ（エクスプレスユーザー）	<p>グラフを使用するとデータが視覚的に表現され、特許ランドスケープが時間とともにどのように変化しているか、フィールドの上位は何か、上位が年とともにどのように変化しているかなどを確認できます。</p>
注文（特許のみ）	<p>特許公報（PDF/イメージ）または包袋を注文します。</p> <p><b>[特許公報のクイック注文]</b> は、ユーザー設定で選択したデリバリーオプションを使用して選択したレコード（レコードが選択されていない場合は検索結果セットの最初の 500 件のレコード）を注文します。特別注文特許は除外されます（注文されません）。</p> <p><b>[特許公報]</b> は、選択した特許公報（レコードが選択されていない場合は検索結果セットの最初の 500 件のレコード）を注文します。[ドキュメントデリバリー] 画面が表示されたら、デリバリーオプションを選択します。</p> <p><b>[包袋]</b> は、選択したレコード（レコードが選択されていない場合は検索結果セットの最初の 25 件のレコード）の公開特許または登録特許の最新の出願経過を注文します。[ドキュメントデリバリー] 画面が表示されたら、デリバリーオプションを選択します。</p> <p>[注文状況] 画面から注文したドキュメントを取得できます。</p>
カスタムフィールドの編集	<p>選択したレコードのカスタムフィールドの値を編集します。</p>

**文献記事（文献のみ）** 選択した文献記事（レコードが選択されていない場合は検索結果セットの最初の 500 件のレコード）のコピーを注文します。[ドキュメントデリバリー] 画面が表示されたら、デリバリーオプションを選択します。

[注文状況] 画面から注文した記事を取得できます。

**監視レコード（特許および文献のみ）** 最大 300 件の選択したレコードの特定のフィールドに対する変更を監視します。

**エクスポート** さまざまなフォーマットとフィールドを組み合わせ、すべてのレコードまたは選択したレコードからデータをエクスポートします。

[注文状況] 画面からエクスポートを取得できます。

**削除（ワークファイルのみ）** ワークファイルから選択した項目を削除します。  
**警告:** ワークファイルから削除したレコードは [保存データ] エリアの [削除したアイテム] フォルダに表示されず、元に戻すことはできません。

**印刷** 全検索結果セットのリストまたは選択したレコードのリスト（検索結果セットで参照している個々のレコードではなくリストのみ）の印刷用画面を生成します。  
検索結果セットを生成するために使用されたクエリーは結果の上に表示されます。このクエリー情報には、検索の種類、検索結果セットに適用されたフィルター、スタック検索または組み合わせ検索、その他を含む、検索結果の生成に関する詳細がすべて含まれます。  
印刷するとき、フィルターされたフィールドの後に、（コロンに続いて）検索結果セットに適用されたフィルターが示されます。

**注意:** ハイライトを印刷するには、ユーザー設定で印刷のハイライトを有効にする必要があります。また、ハイライトを印刷するには、ブラウザの設定で [背景の色とイメージを印刷する] を有効にする必要があることに注意してください（詳細は、お使いのブラウザのマニュアルを参照してください）。

---

## Chapter 6 特許レコード表示

### 簡易表示または全体表示でのレコードの詳細の表示

特許レコード表示は、書誌事項情報、請求項、イメージ、コードなどの、特許レコードに関する詳細な情報を表示します。

レコード表示の情報は常に単一の情報源から得られるわけではありません。表示されるレコードは、できるだけ多くの情報が含まれるように複数の情報源から構築されます。フィールドの隣の疑問符をクリックすると、そのフィールドの詳細な情報が表示されます。

レコード表示の一部のレコードにはハイパーリンクが含まれています。ハイパーリンクをクリックすると、参照レコードや関連レコードを含む新しい検索結果セット、ハイパーリンクされているアドレスへの Email の作成画面、Web サイトが表示されます。レコード表示のリンクをクリックすると、関連するアクションが実行されます。

#### 簡易表示と全体表示

特許レコード表示は、簡易表示または全体表示で表示できます。セッション中はいつでも全体表示と簡易表示を変更することができます。この変更は、ログアウトするまで、または表示を再び変更するまで有効です。

#### 簡易表示と全体表示の違い


簡易表示	全体表示
主要フィールドをコンパクトに表示します。レコード間をすばやく移動できます。	レコードに関する利用可能なすべての情報を表示します。
レコード間をすばやく移動できます。	レコード間の移動は遅めです。
レコード間をすばやく移動して簡単に確認できます。	別のウィンドウに複数のレコードを開いて詳しく確認できます。
特許レコードのデフォルト表示です。	特許検索結果セットのユーザー設定でデフォルト表示として選択できます。
すべての主要情報を表示するため、フィールドはセクションにグループ化されません。	関連フィールドはセクションにグループ化されます。
すべての主要情報をコンパクトに表示するため、[ジャンプ先] リンクは必要ありません。	[ジャンプ先] リンクを利用して特定のセクションに直接移動できます。
カスタムフィールドは表示されません。	カスタムフィールドはレコードの下部に表示されます。
主な情報をコンパクトに表示するため、[ハイライト] パネルは表示されません。	[ハイライト] パネルを利用して、レコードからすばやくジャンプしてハイライトされている検索語を確認できます。

## 特許図面/イメージの表示

レコードと関連付けられているすべての図面/イメージが [イメージ] パネルで利用可能です。図面/イメージ数は [イメージ] パネルの左上に表示されます。利用可能な DWPI クリップがある場合、（他のイメージに加えて）レコード表示の最初のイメージとして表示されるため、特許レコード表示のイメージ数は、PDF/イメージに表示される数よりも 1 つ多くなります。単一のイメージに複数の図が含まれることもあります。

## 複数のレコードの比較

特許レコード表示は、特許レコードに関する重要な詳細を表示します。2 つ（またはそれ以上）のレコード間の詳細を同時に比較することができます。

レコード表示の新規ウィンドウアイコン () をクリックすると、比較レコード表示ウィンドウが開いて現在のレコードが表示されます。

比較レコード表示ウィンドウにはグレーのタイトルバーが表示されます。比較レコード表示は、検索結果セットの他のレコードに移動できず、レコード数は常にレコード 1/1 になります。また、新規ウィンドウアイコンは含まれません。ほかのレコード表示の機能はすべて利用できます。

メイン（主）レコード表示は表示されたまま、検索結果セットの他のレコードに移動できます。

### すべての比較レコード表示を閉じる

少なくとも 1 つの比較レコード表示を開くと、メイン（主）レコード表示ウィンドウに [すべての比較レコード表示ウィンドウを閉じる] リンクが表示されます。このリンクをクリックすると、すべての比較レコード表示ウィンドウが閉じます。

**注意:** すべての比較レコード表示ウィンドウを手動で閉じた場合、メイン（主）レコード表示を更新するまで（たとえば、他のレコードに移動したり、ハイライトオプションを変更するまで）リンクは表示されたままです。

## 検索結果セットの他のレコードへの移動

異なるレコードを表示するために検索結果セットに戻る必要はありません。レコード表示の下部のナビゲーションツールを使用して、検索結果セットの他のレコードを表示できます。

左側のテキストは、表示しているレコード数と、検索結果セット内のレコードの合計数を表します。

中央の数字をクリックしてそのレコードにジャンプするか、単一矢印をクリックして、検索結果セット内の前、または次のレコードを表示します。二重矢印をクリックして、検索結果セット内の最初、または最後のレコードにジャンプします。

全体表示で、移動先（ページ）ツールを使用して、特定のレコードにジャンプします。テキストボックスにページ番号を入力して、[Go] ボタンをクリックします。移動先（ページ）ツールは簡易表示では利用できません。

### キーボードショートカット

キーボードショートカットを使用してレコード間を移動できます。左矢印キーと右矢印キーは、それぞれ、1 つ前または後のレコードに移動します。Shift + 左矢印キーと Shift + 右矢印キーは、それぞれ、最初または最後

のレコードに移動します。スペースキーは、現在のレコードをマーク（またはマーク解除）して次のレコードに移動します。キーボードショートカットは、特許レコード表示でのみ利用可能です。

## ファミリー単位で折りたたまれた検索結果セットの移動

ファミリー、出願番号、引用で折りたたまれた検索結果セットからレコード表示にアクセスすると、**[選択]** ドロップダウンが有効になります。このドロップダウンで、レコードの表示方法を選択します。

- **優先文書:** 検索結果セットの優先文書（隣にプラス/マイナス記号が表示されている文書）のみ表示します。ナンバリングには優先文書の数も反映されます。
- **すべてのドキュメント:** 検索結果セットのすべてのレコードを表示します。ナンバリングには検索結果セットの数字が反映されます（たとえば、1.1 はファミリーの最初のレコードを表し、2.2F は 2 番目の特許レコードの 2 番目のフォワードサイテーションを表します）。

## レコードの PDF/イメージまたは包袋のダウンロード

レコードの PDF/イメージまたは完全な包袋をすばやくダウンロードまたは注文することができます。これらのオプションは簡易表示と全体表示で利用可能です。

### PDF/イメージのダウンロード

現在の特許、公開、実用新案のオリジナル PDF/イメージを表示するオプションは 2 つあります。

オプション	説明
<b>PDF アイコン</b>	ツールバーの PDF アイコンをクリックすると、現在のレコードの PDF/イメージが直ちに表示されます。  全体表示では、アイコンの上にマウスのカーソルを移動すると、PDF のページ番号が表示されます。特定のレコードで PDF/イメージが利用できない場合、PDF アイコンはグレー表示されクリックできません。
<b>ダウンロード、特許公報</b>	<b>[ダウンロード]</b> 、 <b>[特許公報]</b> をクリックすると、このレコードのドキュメントが発注されます。ドキュメントデリバリーで特許を注文するとき、オプションで注文に関連ドキュメント（追加、修正、登録、その他）を含めることができます。

### 包袋

レコード表示から現在のレコードの完全な包袋を注文することができます。**[ダウンロード]** をクリックして **[包袋]** を選択します。

## レコードのオンデマンド翻訳

多くの特許レコードでは、オンデマンド翻訳機能を利用することができます。つまり、表示しているレコードを他の言語に直ちに翻訳できます。オンデマンド翻訳は、レコード表示の全体表示から利用できます。

ツールバーの **[翻訳]** をクリックして、現在のレコードを翻訳します。翻訳オプションは現在のレコードにのみ表示されます。翻訳は新しいウィンドウに印刷可能な形式で表示されます。翻訳は 1 レベルのみ行うことができます。新しく表示されたウィンドウで翻訳機能を利用することはできません。

この機械翻訳は、科学コンテンツ用に設計された最先端の翻訳エンジンを利用して行われます。

翻訳は 1 レベルのみ行うことができます。つまり、レコードを英語からフランス語に翻訳した場合、そのレコードをフランス語から他の言語に翻訳することはできません。



## Chapter 7 特許公報のダウンロード（注文）

検索結果セット、ワークファイル、[クイック注文] 画面、および公報番号検索フォームから、特許のオリジナル PDF/イメージを注文（ダウンロード）することができます。特許検索結果セット、ワークファイル、またはレコード表示から、オレンジの PDF アイコンをクリックして1つずつ PDF 形式の特許公報をすぐに取得することもできます。

### 単一特許公報の PDF/イメージのダウンロード

特許の公報番号がわかっている場合は、ダッシュボードから特許をすばやく検索してダウンロードできます。

1. ダッシュボードで、ドロップダウンメニューをクリックして、**[公報番号]** を選択します。
2. 特許の公報番号を入力して **[検索]** をクリックします。
3. 表示された検索結果セットで、特許の隣の **PDF アイコン** をクリックします。
4. コンピュータに PDF/イメージを保存します：
  - ブラウザの新しいウィンドウに PDF/イメージが表示された場合は、そのウィンドウを使用して PDF/イメージを保存します。
  - ブラウザのファイル保存ダイアログが表示された場合は、そのダイアログを使用して PDF/イメージを保存します。

### 特許公報のリストからの PDF/イメージのダウンロード

[クイック注文] 画面は、特許公報番号のリストから特許公報をすばやく、簡単に注文する方法を提供します。一度に 500 件までの発明（特許公報および関連するドキュメント）を注文できます。発注に制限はありません。

クイック注文は、特許包袋または文献フルテキスト記事では利用できません。

1. ダッシュボードで、**[ダウンロードセンター]** タイルをクリックして、**[クイック注文]** タイルをクリックします。
2. タイプを **[全ページ]** または **[フロントページ]** で選択します。フロントページは、特許公報の書誌事項を含むフロントページのみ配信します。
3. 500 件までの **公報番号** を選択します。公報番号は、手動で入力するか、テキストボックスにコピーして貼り付けるか、公報番号を含む TXT ファイルをアップロードして入力します。
4. **[ドキュメントを注文]** をクリックします。
5. **[注文状況]** 画面が表示されます。

**注意:** クイック注文では費用がかからない特許公報のみ注文できます。特別注文特許は除外されます。特別注文が必要な公報番号は、クイック注文の [注文状況] 画面に「特別注文 - 除外」と表示されます。クイック注文では包袋は配信されません。

---

## 検索結果セットおよびワークファイルからの PDF/イメージのクイックダウンロード

特許検索を実行した後、特許公報のクイック注文を使用して、検索結果セットのすべてのドキュメントまたは選択したドキュメントをダウンロード（注文）できます。一度に 500 件までの発明（特許公報および関連するドキュメント）を注文できます。発注に制限はありません。

これらの手順を使用してワークファイルから特許公報をダウンロードすることもできます。

1. 検索結果セットから、ダウンロードするドキュメントを選択して、**[注文]** - **[特許公報のクイック注文]** をクリックします。
2. 表示されたダイアログで **[OK]** をクリックします。
3. ダッシュボードの **[ダウンロードセンター]** タイルから **[注文状況]** 画面にアクセスします。
4. **[注文状況]** 画面のリンクを使用して注文をダウンロードします。

**[注文状況]** 画面の詳細は、別のトピックで説明します。

## Chapter 8 特許レコードからのデータのエクスポート

エクスポートは、Thomson Innovation 外部で使用できるように、レコードから選択したフィールド（およびデータ）をダウンロードします。ダウンロードできるデータは、選択したコンテンツタイプとフォーマットにより異なります。

検索結果セット/ワークファイルおよび一部の保存データのアイテムからエクスポートを作成できます。グラフで選択したレコードからエクスポートを作成することもできます。

### レコードからのデータのエクスポート

検索結果セットとワークファイルのすべてのレコードまたは選択したレコードを使用してエクスポートを作成できます。グラフおよび一部の保存データのフォルダからエクスポートを作成することもできます。

1. エクスポートするレコードまたは保存データのアイテムを選択します。検索結果セットおよびワークファイルでは、個々のレコードを選択するのではなく、検索結果セットまたはワークファイルのすべてのレコードを含めます。
2. [エクスポートとレポートのオプション] 画面を表示します：
  - 検索結果セットまたはワークファイルから、[エクスポート] ボタンをクリックします。
  - グラフまたは保存データから、ツールバーの [エクスポートとレポート] リンクをクリックします。
3. ファイル [フォーマット] を選択します。
4. 矢印を使用してエクスポートに含めるフィールドセットとフィールドを表示する順序を選択します。一部のフォーマットでは、追加のエクスポートオプション（複製レコードの作成、ファミリーごとに展開など）をオプションで選択できます。
5. オプションで、[デリバリー] オプションを選択します。
6. [作成] をクリックしてエクスポートプロセスを開始します。

[作成] をクリックすると、[注文状況] 画面が表示されます。

## レコードのエクスポートオプション

オプション	説明
選択したレコードを処理	選択したレコードのみエクスポートに含めます。このオプションは、検索結果セットまたはワークファイルからレコードを選択した場合のみ利用できます。
すべての検索レコードを処理	検索結果セット、ワークファイル、ThemeScape マップのすべてのレコードをエクスポートに含めます。  レコードを選択しない場合、またはグラフや保存データのアイテムからエクスポートを作成する場合に、個々のレコードを指定できないアイテムに利用できる唯一のオプションです。
検索された対応特許からベーシック特許を除外	エクスポートからオリジナル検索の一部でなかった DWPI ベーシックレコードが削除され、選択したレコードと引用のみ含まれます。このオプションは、DPCI 引用特定検索を使用している場合にのみ利用できます。  <b>詳細:</b> 特定検索

## 追加のエクスポートオプション

オプション	説明
複数值フィールドに複製レコードを作成	一部のフィールド（譲受人/出願人など）には複数の値が含まれています。エクスポートで、選択した複数值フィールドの複製レコードを表示できます。  <b>詳細:</b> エクスポートフィールド - 複数值フィールド
印刷用	印刷したドキュメントが見やすくなるように、ハイパーリンクと PDF アイコン（特許公報へのリンク）を削除します。
ファミリーごとに展開（PDF 形式のみ）	選択した特許レコードとレコードの INPADOC ファミリーメンバーの両方をエクスポートに含めます。レコードは PDF でファミリーごとにグループ化されます。各ファミリー内で、特許は出願番号ごとにグループ化され、特許のすべての段階を単一エントリに表示します。  このオプションは、法的状況レポート拡張ファミリー フィールドセットを選択すると自動的に選択されます。

## デリバリー オプション

オプション	説明
ファイル名	ダウンロードするファイルの名前。デフォルトのファイル名を使用した場合でも、新しいファイル名を入力した場合でも、システムは選択したフォーマットオプションに基づいて正しいファイル拡張子（.csv、.pdf など）を自動的に追加します。
ファイルを ZIP に圧縮	ダウンロードするファイルを .ZIP で圧縮します。このオプションを使用すると、[レコードごとに 1 ファイル] を選択したときに複数のファイルを圧縮できます。このオプションは、セッションの間有効です。
レコードごとに 1 ファイル	TXT および XML ファイルの場合、オプションで、各レコードを別のファイルで作成できます。このオプションは、ファイルを ZIP に圧縮する場合のみ利用できます。
メールで共有	オプションで、エクスポートを追加の受信者に Email で送ります。ボックスに受信者の Email アドレスを入力するか、[追加/編集] をクリックして Email アドレスを選択できます。

## エクスポートの取得

[注文状況] 画面からエクスポートを取得します。この画面は、[エクスポートとレポートのオプション] 画面で [作成] をクリックすると自動的に表示されます。ダッシュボードの [ダウンロードセンター] タイルから、いつでも [注文状況] 画面にアクセスできます。

エクスポートを取得するには、取得するエクスポートを選択して、[ダウンロード可] リンクをクリックします。リンクをクリックすると、ブラウザでファイルを開くか保存するかを確認するメッセージが表示されます。

エクスポートは、作成後 30 日間、[注文状況] 画面から利用できます。

## Chapter 9 注文状況

[注文状況] 画面から、ドキュメントの注文およびエクスポートをダウンロードできます。以前の注文とエクスポートの詳細を表示することもできます。

ダッシュボードの [ダウンロードセンター] タイルから [注文状況] 画面にアクセスします。

ドキュメントの注文およびエクスポートは、作成後 60 日間、[注文状況] 画面から利用できます。

### エクスポートとドキュメントの注文の取得

エクスポートやドキュメントの注文を取得するには、注文リストで注文を選択して、注文詳細の [ダウンロード可] リンクをクリックします。リンクをクリックすると、ブラウザでファイルを開くか保存するかを確認するメッセージが表示されます。複数のドキュメントタイプ（たとえば、特許公報と文献記事）を含むドキュメントの注文の場合、注文詳細セクションに、各ドキュメントタイプの個別のタブが表示されます。

複数の項目を含む特許公報の注文の場合、項目ごとに [ダウンロード可] リンクが表示されます。項目を個別にダウンロードするか、[Zip ダウンロード] をクリックして注文のすべての特許公報を 1 つの ZIP ファイルでダウンロードします。

### ドキュメントの注文とエクスポート状況

ドキュメントを注文するか、[エクスポートとレポートのオプション] 画面で [作成] をクリックすると、処理がただちに開始されます。多くの場合、[注文状況] 画面が表示されたときには、エクスポートやドキュメントの注文が完了して [ダウンロード可] になります。ただし、ドキュメントの注文やエクスポートのサイズと内容によっては、[注文状況] 画面が表示されたときにドキュメントの注文やエクスポートが [保留中] または [処理中] のままになっていることがあります。

状況	説明
保留中	注文やリクエストが処理されるのを待っています。
処理中	ドキュメントの注文やエクスポートのデータを収集してフォーマットしています。ステータスバーに状況が表示されます。

ドキュメントの注文やエクスポートが [保留中] または [処理中] の場合、ドキュメントの注文やエクスポートが完了するまで [注文状況] 画面で待機する必要はありません。別のドキュメントを注文したり、別のエクスポートをリクエストしたり、他の作業を自由に行うことができます。後から [注文状況] 画面に戻って、注文したドキュメントやエクスポートをダウンロードできます。

## Chapter 10 アラート

アラートは、作成した検索が指定した時間に行われたことと、検索結果が表示可能であることを通知します。アラートは通常、コレクションのアップデートと一致する間隔で動作するように設定されます。したがって、新しいレコードが利用可能になるとすぐに、その旨がアラート（通知）されます。

Email アラートにより、実行されたアラートと新しいレコードが見つかったかどうかわかります。検索で見つかった新しいレコードは、ワークファイルに保存されます。

IP 認証（クイック起動）で Thomson Innovation にアクセスしているユーザーはアラートを利用できません。

### アラートの作成

すべてのコンテンツタイプ（特許、文献）のすべてのコレクションにアラートを作成できます。

検索フォーム、検索履歴、保存した検索、検索結果セットからアラートを作成できます。検索フォームではアラートを検索するクエリーを入力する必要があることを除いて、アラートの作成方法はほぼ同じです。

**ヒント:** クエリーの検索結果を調べて、必要な種類のレコードを検索していることを確認した後、検索結果セットからアラートを作成してください。

1. **[検索の保存とアラートの作成]** 画面にアクセスします。
  - 検索フォームおよびスタンドアロン検索結果セットから、**[アラート]** ボタンをクリックします。
  - **[保存した検索]** 画面から、**[アラート]-[設定]** をクリックします。
2. アラートの **[名前]** と **[概要]**（オプション）を入力します。
3. オプションで、**[保存と共有の追加オプション]** を選択します。
4. オプションで、**[実行オプション]** タブをクリックして、アラートの実行オプションを指定します。
5. オプションで、**[デリバリーとコンテンツのオプション]** タブをクリックして、アラートに含める情報を選択します。
6. **[保存]** をクリックします。

### アラート作成の基本事項

- 日付範囲を含む検索のアラートセットは、日付範囲外のレコードについては結果を返しません。
- カスタムフィールドを含む検索、スタック検索、DPCI フィールドを含む検索からアラートを作成することはできません。
- アラート Email の言語は、アラートに含まれているレコードやアラートで参照されているレコードの言語を示しません。
- アラートを作成するときのインターフェイスの言語設定により、生成される Email の言語が決まります。その後で Thomson Innovation の別の言語に変更しても、言語は変更されません。

## アラートのトリガー

アラートは指定した間隔で実行されます。間隔は、毎週、毎月、検索のコレクションの更新時などです。

アラートには、以下のすべての条件に当てはまるレコードが含まれます。

- Thomson Innovation に新しく追加されたレコード
- 前回アラートを実行したときに検索で見つからなかったレコード
- 検索条件と一致するレコード

アラートを作成するとき、オプションで、検索結果が見つからなかった検索のアラートを受け取らないように選択できます。

次の要因は、アラートのコンテンツに大きな影響を与えます。

- 入力したクエリー（特に日付範囲を含む場合や DWPI データを検索する場合）
- コンテンツの更新（毎週/毎月スケジュールされているアラートの実行と一致する場合）



## Chapter 11 グラフ

グラフを使用するとデータのビジュアルな分析が提供され、ランドスケープが時間とともにどのように変化しているか、上位が年とともにどのように変化しているか、フィールドの上位は何かなどを確認できます。グラフを使用するメリット:

- 多くのデータを視覚的に表示して大規模な検索結果セットを分析できます。
- Thomson Innovation のデータを処理して一目で理解できるように表示できます。

検索結果セットとワークファイルのすべてのレコードまたは選択したレコードを使用してグラフを作成できます。保存データのアイテムのすべてのレコードを使用してグラフを作成することもできます。

### テンプレートからのグラフの作成

グラフを作成するには、データセットを選択し、そのデータにとって最良の表示方法を選択して、表示する情報を決定します。グラフテンプレートを使用すると、最も一般的なグラフをすばやく作成できます。

多くの事前定義グラフテンプレートから選択するか、カスタムグラフを作成してテンプレートとして保存し、独自のグラフテンプレートを使用します。

1. グラフで分析するレコードまたは保存データのアイテムを選択します。検索結果セットおよびワークファイルでは、個々のレコードを選択するのではなく、検索結果セットまたはワークファイルのすべてのレコードを含めます。
2. [解析]-[グラフ] をクリックします。
3. グラフテンプレートをクリックします。テンプレートにデータが適用され、グラフが表示されます。

### グラフの操作

#### グラフの操作

グラフを作成した後、グラフに表示されるレコードを分析します。必要な場合は、設定を変更します。分析に役立つように、グラフのセグメント（棒、円の片、リストの数など）をクリックして、そのセグメントのデータを含む検索結果セットを作成できます。

グラフに凡例が表示されている場合、凡例のラベルをクリックすると [色の変更] ウィンドウが表示されます。このウィンドウで、グラフの対応するセグメントに使用する色を選択できます。

グラフの設定が完了したら、Thomson Innovation で将来使用できるように、グラフを保存します。グラフをイメージとして保存、グラフを印刷、あるいはグラフの作成に使用したレコードからデータをエクスポートして、Thomson Innovation 外部で使用することもできます。

## Thomson Innovation へのグラフの保存

Thomson Innovation で将来使用できるように、グラフを保存することができます。グラフの保存以外に、グラフの設定をテンプレートとして保存したり、グラフの作成に使用したレコードをワークファイルとして保存することもできます。

グラフを保存するには、**[保存]** をクリックしてグラフを開き、以下のいずれかのオプションを選択します：

保存オプション	説明
<b>グラフ</b>	<p>将来使用できるように [保存データ] のデフォルトフォルダにグラフを保存します。グラフの作成に使用したデータへのリンクは保存したグラフにそのまま残ります。</p> <p>グラフを保存するとき、<b>[名前]</b> および <b>[概要]</b> を入力します。保存先として、個人フォルダまたは公開用フォルダを選択します。あるいは、[保存データ] の受信箱を使用して共有します。</p>
<b>ワークファイルデータ</b>	<p>グラフの作成に使用した検索結果セットを含む新しいワークファイルを作成します。</p> <p>ワークファイルを保存するとき、<b>[名前]</b> および <b>[概要]</b> を入力します。保存先として、個人フォルダまたは公開用フォルダを選択します。あるいは、[保存データ] の受信箱を使用して共有します。</p>

## Chapter 12 ワークファイル

ワークファイルは、保存したレコードのリストです。検索結果セットまたはレコード表示から、新しいワークファイルまたは既存のワークファイルにレコードを保存することができます。検索結果をワークファイルに自動的に保存するアラートを設定することもできます。

**注意:** 正確には、ワークファイルには（検索結果セットのように）レコードへのリンクが含まれているだけでレコードは含まれていませんが、「ワークファイルのレコード」と一般に表記します。


---

### ワークファイルは検索結果セット

ワークファイルは、フィルタリングやサブサーチのオプションを含めて、検索結果セットのように動作します。ただし、ワークファイルは（レコードと検索フォームの両方ではなく）レコードのみ表示し、[保存] および [アラート] ボタンはありません。ワークファイルから選択したレコードを削除する [削除] ボタンはありません。

### ワークファイルは保存データのアイテム

Thomson Innovation は、すべてのワークファイルを [保存データ] の [ワークファイル] フォルダに自動的に保存します。オプションで、ワークファイルのコピーを個人フォルダに保存したり、ワークファイルを公開用フォルダで共有することもできます。

保存したワークファイルを開くには、保存データのワークファイルを選択して [開く] () アイコンをクリックします。保存データから、複数のワークファイルを1つのワークファイルにマージしたり、グラフ、ThemeScape、テキストクラスタでワークファイルのコンテンツを解析したり、他の保存データのアイテムのようにワークファイルを管理する（ワークファイルを共有したりデータをエクスポートする）ことができます。

### 新しいワークファイルまたは既存のワークファイルへのレコードの追加

検索結果セットから新しいワークファイルにレコードを追加することができます。検索結果またはレコード表示から既存のワークファイルにレコードを追加することもできます。

検索結果セットで作業を行っているときに、すべてのレコードまたは選択したレコードを追加することができます。レコードを選択しない場合、デフォルトで検索結果セットのすべてのレコードが追加されます。

#### 新しいワークファイルへのレコードの追加

1. 検索結果セットで、オプションで、新しいワークファイルに追加するレコードを選択します。レコードを選択しない場合、検索結果のすべてのレコードが追加されます。
2. [追加] - [新しいワークファイル] をクリックします（レコード表示で、[ワークファイルに追加] - [新しいワークファイル] をクリックします）。
3. ワークファイルの [名前] と [概要]（オプション）を入力します。
4. オプションで、[保存と共有の追加オプション] を選択します。

5. **[保存]** をクリックします。

#### 既存のワークファイルへのレコードの追加

1. 検索結果セットで、オプションで、新しいワークファイルに追加するレコードを選択します。レコードを選択しない場合、検索結果のすべてのレコードが追加されます。
2. **[追加] - [既存のワークファイル]** をクリックします（レコード表示で、**[ワークファイルに追加] - [既存のワークファイル]** をクリックします）。
3. レコードを追加するワークファイルを選択します。

## Chapter 13 保存データ

[保存データ] エリアには、ワークファイル、保存した検索とアラート、グラフ、ThemeScape マップなど、保存データのアイテムがすべて含まれています。保存したすべてのアイテムは、アイテムタイプ固有のフォルダに自動的に保存されます（たとえば、すべてのワークファイルは [ワークファイル] フォルダに保存されます）。

また、[保存データ] エリアには、個人フォルダと公開用フォルダ、オプションで保存データのアイテムを保存または他のユーザーと共有する場所も含まれています。作業を（たとえば、プロジェクト、ビジネス単位、クライアントごとに）整理するため、個人フォルダまたは公開用フォルダ内に追加のフォルダを作成することができます。


自動的に作成されるフォルダには、特定のタイプの保存データのアイテムのみ含まれます（たとえば、[ワークファイル] フォルダにはワークファイルのみ含まれます）。個人フォルダおよび公開用フォルダには複数のタイプの保存データのアイテムが含まれます。

保存データにアクセスするには、ダッシュボードの [保存データ] タイルをクリックして、表示する保存データのアイテムのタイルをクリックします。

保存データのアイテムを選択して、アイテムの詳細（説明、所有者、前回の変更日など）を確認できます。

### 保存データのアイテムの検索と表示

#### 保存データのアイテムの表示

保存データのアイテムを開くには、開くアイテムの隣の [開く] () アイコンをクリックするか、アイテムを選択してハイパーリンクされている保存データのアイテムの名前をクリックします。

保存データのアイテムのタイプに応じて、メインウィンドウまたは新しいウィンドウが開きます。たとえば、保存した検索（またはアラート）を開くと、その検索の検索フォームと検索結果がメインウィンドウに表示されますが、保存したグラフを開くとそのグラフが新しいウィンドウに表示されます。

#### 保存データのアイテムの検索

##### 保存データのフォルダの参照

保存したすべてのアイテム/ファイルは、アイテムのタイプ（ワークファイル、グラフなど）に応じてシステムが生成したフォルダに自動的に格納されます。特定のタイプのアイテムのみ、システムが生成したフォルダに格納されます。

個人フォルダおよび公開用フォルダには複数のタイプの保存データのアイテムが含まれます。ただし、アイテムはこれらのフォルダに自動的に保存されません。明示的に選択して個人フォルダまたは公開用フォルダに保存する必要があります。

個人フォルダおよび公開用フォルダには、サブフォルダを作成できます。サブフォルダを作成することで、特定の条件（たとえば、特定のプロジェクトに関連するすべての作業）に基づいて作業を整理することができます。

**ヒント:** すべてのサブフォルダをすばやく開く（展開する）には、[すべてを展開] アイコン（+）をクリックします。

---

フォルダの保存データのアイテムを表示するには、フォルダパネルのフォルダをクリックします。そのフォルダのコンテンツがメインウィンドウに表示されます。デフォルトでは、1 ページにフォルダの 10 個のアイテムが表示されます。オプションで、1 ページに表示するアイテム数は変更できます。

### すべてのフォルダーの検索

すべての保存データのアイテムを特定のキーワードで検索するには、フォルダパネルの上の検索ツールを使用します。任意のフォルダまたは特定のシステムが生成したフォルダのコンテンツを検索するように選択できます。

キーワードは保存データのアイテムで使用されているとおり正確に入力してください。ステミングやワイルドカードは使用できません。検索は大文字と小文字を区別します。

保存データのアイテムの基本情報（ファイル名、概要、所有者など）のデータのみ検索できます。保存データのアイテムには（レコードそのものではなく）レコードへのリンクのみ含まれているため、レコードのテキストは検索できません。

### 現在のフォルダの検索

現在のフォルダの保存データのアイテムを特定のキーワードで検索するには、コンテンツおよび概要エリアの上の検索ツールを使用します。すべてのテキストフィールドのキーワードおよび特定フィールド（ファイル名、概要、所有者など）のキーワードを検索できます。

キーワードは保存データのアイテムで使用されているとおり正確に入力してください。ステミングやワイルドカードは使用できません。検索は大文字と小文字を区別します。

保存データのアイテムの基本情報（ファイル名、概要、所有者など）のデータのみ検索できます。保存データのアイテムには（レコードそのものではなく）レコードへのリンクのみ含まれているため、レコードのテキストは検索できません。

## 保存データのアイテムとフォルダの管理

保存データから、保存データのアイテムの編集、名前の変更、コピー、削除、共有を行うことができます。個人フォルダまたは公開用フォルダに新しいフォルダを作成することもできます。また、既存のフォルダの名前の変更、コピー、移動、削除を行うこともできます。

### 保存データのアイテムの管理

以下に、保存データのアイテムを管理する基本的な手順を示します。手順の後の表に、各アクションの追加の詳細を示します。

1. 管理する保存データのアイテムを表示します。
2. 管理するアイテムのチェックボックスをオンにします。
3. [管理] をクリックして実行するアクションを選択します。
4. 表示された画面を完了して [保存] をクリックします。

## 保存データのアイテムの注釈の追加または確認

保存データのアイテムにメモや添付ファイルを保存する注釈を追加することができます。

保存データのアイテムの注釈を追加または表示するには、[保存データ] エリアのアイテムを表示して、そのレコードの隣の注釈アイコンをクリックします。[注釈] 画面に、注釈を追加、表示するツールが表示されます。

ツール	説明
注釈を追加	メモを入力して [保存] をクリックします。メモが注釈としてドキュメントに追加されます。メモは、注釈を作成したユーザー名、日付、アップロードした添付ファイルとともにレコードに保存されます。
ファイルを添付	オプションで、注釈にファイルを添付します。必ずメモを入力する必要があります。 注釈に添付できるファイルのサイズは最大 2 MB です。
個人用の注釈	オプションで、この注釈を自分だけにのみ表示されるようにします。（ワークファイルを共有している）他のユーザーにはこの注釈は表示されません。
注釈リスト	このレコードの注釈、注釈を作成したユーザー、注釈が作成された日付がすべて表示されます。クリップアイコンは添付ファイルを表します。クリップをクリックすると、添付ファイルをダウンロードします。 [アクション] カラムのボタンをクリックして、注釈を編集または削除します。 <ul style="list-style-type: none"><li>● <b>編集:</b> 注釈のテキスト、添付ファイル、プライバシー設定を編集します。</li><li>● <b>削除:</b> レコードから注釈を削除します。</li></ul>
注釈のエクスポート	現在のレコードのすべての注釈（添付ファイルを含む）をエクスポートします。

## Appendix 1 エクスプレス購読について

作業をすばやく効率的に完了できるように、Thomson Innovation エクスプレスユーザーのフィールドセットと機能は高度に厳選されています（数も少なくなっています）。Thomson Innovation をエクスプレスユーザーとして使用する場合もプロおよびアナリストユーザーとほぼ同じですが、いくつかの相違点があります。

### エクスプレスユーザーかどうか確認するには

購読レベルを確認するには、ダッシュボードの [アカウント情報] タイルをクリックして、[基本情報] タイルをクリックします。現在の購読レベルと購読に関する他の情報が表示されます。

### エクスプレスと他の購読の比較

	同じ点	異なる点
検索、検索結果、レコード	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用可能なコレクション</li> <li>強力な検索エンジン</li> <li>クイック検索機能を利用可能</li> <li>[フィールドの追加] ボタンと X（フィールドの削除） ボタンを使用してフィールド検索フォームのフィールドを追加および削除可能</li> <li>ユーザー設定のオプションを利用して作業環境をカスタマイズ可能</li> <li>DWPI ファミリー、INPADOC ファミリー、または出願番号単位で検索結果セットを折りたたんで表示する機能を含めて、検索結果セットを設定可能</li> <li>フル機能のレコード表示</li> <li>検索結果をハイライト表示可能</li> <li>レコード表示から翻訳を利用可能</li> <li>カスタムフィールドを使用可能</li> <li>検索履歴を作成および保存可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特許および文献検索で利用可能なフィールド数に制限がある</li> <li>フィールドレベルの検索フォームのユーザー設定は特許についてのみ行うことができる</li> <li>検索フォームでクエリーの表示と編集が利用できない</li> <li>特許検索テンプレートが利用できない</li> <li>エキスパート（コマンドライン）検索スタイルが利用できない</li> <li>検索結果セットの [DWPI ファミリーを取得] ツールと [INPADOC ファミリーを取得] ツールが利用できない</li> <li>ハイライトは検索語のみに制限される</li> <li>検索履歴でクエリーを組み合わせられない</li> </ul>



	同じ点	異なる点
<b>アラートと保存データ</b>	<p>検索の保存、アラートの作成、レコードの監視が可能</p> <p>ワークファイルとマークリストを作成して他のユーザーと保存データのアイテムを共有可能</p> <p>マークリストを作成可能</p> <p>個人フォルダおよび公開用フォルダを作成可能</p>	<p>アラートでは事前定義のフィールドのみ利用できる</p>
<b>ダウンロードと解析</b>	<p>エクスポートとレポートを作成可能</p> <p>グラフを作成可能</p> <p>特許公報と包袋を注文可能</p>	<p>エクスポートできるレコード数は1,000件までで、事前定義のフィールドセットのみエクスポートできる（これらのセットから個々のフィールドを削除することは可能）</p> <p>エクスポートテンプレートが利用できない</p> <p>グラフでは事前定義のテンプレートのみ利用できる</p> <p>テキストクラスタリング、ThemeScape、引用マップ作成ツールを直接利用できない。ただし、テキストクラスタ、ThemeScape マップ、引用マップをプロ/アナリストユーザーと共有して利用することはできます。</p>

## Who we are

*Clarivate Analytics* accelerates the pace of innovation by providing trusted insights and analytics to customers around the world, enabling them to discover, protect and commercialize new ideas, faster. Formerly the Intellectual Property and Science business of Thomson Reuters, we own and operate a collection of leading subscription-based businesses focused on scientific and academic research, patent analytics and regulatory standards, pharmaceutical and biotech intelligence, trademark protection, domain brand protection and intellectual property management. *Clarivate Analytics* is now an independent company with over 4,000 employees, operating in more than 100 countries and owns well-known brands that include *Web of Science*, *Cortellis*, *Thomson Innovation*, *Derwent World Patents Index*, *CompuMark*, *MarkMonitor* and *Techstreet*, among others.

Thomson Innovation is built to provide answers that you need to make your business succeed—with the most comprehensive content and the best tools for finding it. It's your most complete source on earth for global patent data and scientific literature all in one platform.

To learn more, visit:  
[info.thomsoninnovation.com](http://info.thomsoninnovation.com)